

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 13, No. 2

神奈川県立生命の星・地球博物館

Jun., 2007



漢拏山

2006 年 6 月 12 日
大韓民国済州島
田中徳久 撮影

たなかのりひさ
田中徳久 (学芸員)

済州島の漢拏山は、標高 1,950m の大韓民国の最高峰です。済州島全体が火山島で、広大な溶岩台地の上に漢拏山の山頂がそびえています。

漢拏山では、現在、4つの登山道が開放されています。そのうちの2つの登山道は山頂まで到達することができますが、残る2つは標高 1,700m 附近の待避所から上へは立入禁止になっています。

溶岩台地の上には、なだらかな起伏の広大な草原が広がり、所々にタンナチョウセンヤマツツジが大群落を作っています。また、日本の高山で見慣れた

ガンコウランやユキワリソウなどのほか、山地や丘陵で目にするコゴメウツギやヒメハギ、クサタチバナなども見ることができます。その中を進む登山道は、その大部分が木道化され、登山の制限とともに、自然保護への配慮が伺えます。しかし、実際には、登山道の周辺は、土壌流出が進まないように施工されている場所（右下写真）も多く、植生復元なども行なわれています。漢拏山の植生は、登山道周辺では広範に破壊され、現在はその再生を図っている段階にあるのです。